

おがわらこニュース 平成29年 8月 第21号

小学生による水質の簡易調査

～「川のきれいさ」を調べる学習のお手伝い～

7月13日(木)、県が管理する作田川(七戸町)で七戸町立城南小学校3年生が、「川の水はきれいか?」「生き物が住みやすいか?」などを調べる学習を行い、高瀬川河川事務所の職員がお手伝いしてきました。薬品を使ったり、見つけた生き物の種類などから、川のきれいさを学びました。

薬品を使う調査は、パックテストという簡単な調査を行いました。チューブに水を吸い上げると、中の薬品と混ざり水の色が変化します。その水の色と見本色を比べて、水質を判断します。







▲パックテスト ～ どの色に近いかな?

パックテストでは「pH(パーハー)」「COD」など調べました。

- * 「pH」～水素イオン濃度のこと。酸性またはアルカリ性に傾いている度合いを表す。
- * 「COD」(化学的酸素要求量)～水中の汚れ(有機物)を薬品で分解するときに必要な酸素の量で、汚れていると値が大きくなります。

きれいな水(水質階級Ⅰ)の指標生物の例

| | |
|--|--|
| <p>カワゲラ</p> <p>尾は2本で、脚の下面や腹の末端にふさ状のエラがある。足のツメは2本。深流の石の間や、流れがゆるやかで落葉などがたまっているところを好んですんでいる。日本産は約150種類。</p> <p>●まちがえやすい生物 カゲロウ類とまちがえやすいが、腹に木の葉状のエラがない。</p> |  <p>カワゲラ</p> |
| <p>ヒラタカゲロウ</p> <p>足のツメは1本で、尾は長く2本。目が上についており、体全体が平たくカレイのような形。腹の両側に木の葉状の大きなエラがある。流れの速いところの石に体を密着させて生活している。</p> <p>●まちがえやすい生物 カワゲラとまちがえやすい。</p> |  <p>ヒラタカゲロウ</p> |
| <p>ナガレトビケラ</p> <p>体は細長いイモムシ状で、足は3対。腹の色はうすく、やや緑がかっている。頭と前の脚が固くなっているが他はやわらかい。肉食の種類が多く、上流の水温の低い、きれいなところにいる。幼虫は網や巣をつくらずに石の上や間を歩く。</p> |  <p>ナガレトビケラ</p> |
| <p>ヤマトビケラ</p> <p>体は太くイモムシ状で、足は3対。色は茶色で、頭と脚は固くて茶色。亀の甲のような砂つぶの巣をかかっているのですく分かる。巣の下面には頭と尾部を出す穴がある。</p> |  <p>ヤマトビケラ</p> |

川の中にどんな生き物がいるかを調べると、水がきれいか汚れているかが分かります。その生き物の存在から水の汚れを判定できる生き物を「指標生物(しひょうせいぶつ)」と呼んでいます。



三沢市・東北町で湖水まつりが開催されました

7月23日（日）に三沢市で、22日（土）・23日（日）の両日東北町で、それぞれ湖水まつりが開催されました。高瀬川河川事務所では東北町の湖水まつりにパネル展「小川原湖に住む魚たちのミニ水族館」を出展しました。ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。



十和田・小川原湖地区合同安全パトロール



7月6日（木）、国道4号及び上北天間林道路の工事現場で十和田・小川原湖地区合同安全講習会を実施しました。各現場事務所の現場代理人など約60名が参加し、適正に工事が行われているかなどを点検しました。点検後には点検結果を基に検討会が実施され、現場の良い点・悪い点を指摘しながら、現場の“望ましい姿”を班毎に取りまとめて報告を行いました。また、安全講話として熱中症予防対策について説明があり、その重要性について確認しました。



検討会で出た意見や安全管理の講話を参考に、今後も無事故に努めます!!

※「おがわらこニュース」は、事務所HPでもご覧いただけます。

編集後記

7月31日、東北町でカワセミを発見!!
羽色が鮮やかで翡翠ひすいのような体色から、“飛ぶ宝石”とも呼ばれているそうです。
皆さんも小川原湖に足を伸ばしてみませんか。いろいろな生物に出会えますよ♪(木村)



発行

高瀬川河川事務所 小川原湖出張所
〒033-0021 三沢市岡三沢三丁目9-19
TEL:0176-53-3081 FAX:0176-52-9266
E-mail: thr-takasegawa01@mlit.go.jp
<http://www.thr.mlit.go.jp/takase/>